



奉仕を通じて
平和を

2012-2013年度

広島北ロータリークラブ週報

2013年4月4日発行 Vol. 1347

国際ロータリー会長 田中 作次 氏
国際ロータリーテーマ
奉仕を通じて 平和を
Peace Through Service

■会長 水野 勝 ■幹事 山内 盛利
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会場 ホテルグランヴィア広島

■本日の例会	2013年4月4日(木) 第2127回
国歌斉唱	
ロータリーソング	「奉仕の理想」
四つのテスト唱和	職業奉仕委員会
来客紹介	ロータリー家族親睦委員会
会員誕生祝い	
会長時間	
幹事報告	
委員会報告等	
ニコニコ箱	
卓話時間	佐藤 忠寛 会員 『新会員自己紹介』 国際奉仕委員会 『ロータリーカードの活用法』

あり、ロータリーの歴史・理念・実践について学びました。
3月20日には2013～14年度地区協議会があり、いよいよ次年度に向かって準備が加速しました。私の年度もあと3ヵ月余りとなりましたが、手綱を緩めることなく理事役員頑張っておりますので、皆様よろしくお願いたします。

幹事報告 幹事 山内 盛利

- * 広島14RC合同懇親ゴルフ大会のキャンセル期限は4月5日(金)です。これを過ぎてのキャンセルは登録料の返金がありません。
- * 次年度所属委員会表 (BOX配布)
- * 4月例会予定表 (BOX配布)
- * ゴルフ同好会 HDCP 表 (BOX配布)
- * 米山学友会会報 (BOX配布)
- * 第42回春の日本画展開催案内 (BOX配布)

前回例会報告 2013年3月28日(木) 第2126回

ロータリーソング	「われら広島北ロータリー」
来客紹介	ロータリー家族親睦委員会
会長時間	
幹事報告	
委員会報告	
ニコニコ箱	
卓話時間	広島県知事 湯崎 英彦 氏 『県民の皆様とともに 「がん対策日本一」の実現を』

委員会・同好会報告

次年度幹事報告 久保(豊)会員

本日、次年度の所属委員会表をお配りしていますので、ご確認をお願いいたします。また、例会終了後、第1回被選クラブ協議会を開催します。

ゴルフ同好会 渡部会員

* HDCP 表をお配りしていますので、ご確認をお願いします。

ニコニコ箱

ニコニコ委員会

【自主出宝】

水野会員・増田会員・山内会員・石井会員・島本会員 広島県知事 湯崎英彦様 本日は当例会によるご出でございました。有り難うございます。本日の卓話を楽しみにしていますと共に、今後のご活躍をクラブ会員一同、祈念申し上げます。

山本(忠)会員・福田会員 広島県知事 湯崎英彦様、ようこそ当クラブにご来会賜り、誠に有難うございます。本日の卓話宜しくお願致します。過日の私ども「地区ガバナー杯ロータリークラブ野球大会」には、激励のお祝い書を頂戴し、全会員参加の前夜祭に於いて、ご披露させて頂きました。重ねてお礼申し上げます。次年度大会は記念すべき第20回大会となります。是非ともご臨席を賜り、大会に華を添えて下さいますよう参加クラブ全会員、心よりお待ち申し上げます。

高原会員 本日の卓話楽しみにしています。私も日夜微力ながら検診を通じて県民のがん検診の普及の努めています。

水野会員 横田先生、本日はようこそお出で頂きました。しっかり例会を見て頂いて、入会をよろしくお願致します。

庄子会員 本日、例会後に被選クラブ協議会が開催されます。関係各位にはよろしくお願いたします。

岸本会員・福田会員・中尾会員 全国高等学校野球大会春のセンバツ甲子園に晴れて出場おめでとうございます。春の甲子園を制覇し、広島に夢を持ち帰られる事を願っておりましたが、残念でし

会長時間

会長 水野 勝

本日は湯崎知事にごん対策についてお話していただきますが、国際的にも日本はがん検診の受診率が異常に低く、検診率のアップが訴えられております。しかし反応は鈍いのが現状です。がん検診で早期に発見されたがんの医療費は、進行がんに比べ格段に安く済みます。自分のためでもありますので、皆さんも年1回は検診を受けられることをお勧めします。

先々週の例会では、「ロータリーの認知度向上と広報のあり方」についてフォーラムを開いたところ、熱心にご討論いただきありがとうございました。内容ある奉仕活動については陰徳ではなく、おおいに広報し、また職業奉仕を通じて示すわれわれ一人一人の後ろ姿こそ最良の広告塔である、との結論を得ました。

3月15日には当ホテルにおいて第19回ガバナー杯ロータリークラブ親善野球大会前夜祭が盛大に行われました。18チームという多数の参加があり、本年も我がクラブがホストクラブを務めております。大会実行委員ならびに関係者の皆様には心よりお礼申し上げます。残念ながら我がクラブは2回戦で敗れましたが、来年の20回記念大会には是非優勝目指して練習を重ねて頂きたいと思っております。

また、3月17日には地区会員合同研修セミナーが国際会議場で

た。でも広陵らしい立派な戦いぶりでした。

中川会員★ 結婚して50年。先日、金婚式を迎えました。お互いに良くガマンしたものだなぁと感無量です。妻と旅行でも行こうと思っています。

山本(忠)会員 野球同好会の皆さんへ。この度私の母校広陵高校野球部が甲子園出場にあたり、皆さんから心温まる寄付金を頂きありがとうございます。お礼申し上げます。しかし残念ながら期待にそえませんでした。これからまた夏を目指してがんばることと思います。皆さんに感謝します。

山坂会員 監督の情報収集不足でガバナー杯2回戦で萩 RC に負けてしまいました。深く反省しております。

久保(豊)会員 ガバナー杯野球大会、萩 RC 戦に先発し、4点取られて、A級戦犯です。次回リベンジします。

越智会員 先日のガバナー杯、私はあろうことか野球道具一式忘れてしまいました。当日の敗戦は全て私の責任だと反省しております。申し訳ありませんでした。

岡部会員 ガバナー杯一回戦において、ファールになるとニコニコと言われ、悪球を打とうとしましたが、惜しくも三振。ベンチに帰ると三振もニコニコ言われたので出室いたします。

土井会員 先週、我が家にもウグイスが来ました。春が来ましたね！

当日計 37,000 円(内、web 5,000 円) 累計 1,097,000 円

★=10,000 円 ☆=5,000 円 ◆=3,000 円 ◇=2,000 円

卓話時間

『県民の皆様とともに「がん対策日本一」の実現を』

広島県知事 湯崎 英彦 氏



本日は広島北RCの例会にお招きを頂き、がん対策のことについて話をする機会を頂き、誠にありがとうございます。というのも、まさにがん対策というのは県が施策として推進する部分もちろん

あるのですが、実はその多くの部分が実際に県民の方に行動していただくとか、あるいは企業にサポートしていただくという側面が多くございまして、そういう意味で県民であり、また多くの皆様方、経営者もされていらっしゃる方も多いと思いますけれども、こういった機会は大変貴重なものであるというふうに思っております。

まず本県の“がん”の現状ですけれども、毎年広島では大体3万人くらいの方が亡くなっていますが、その内“がん”が約3割を占めており、ずっと死因のトップを占めております。

それだけではなく、実は45歳以上の働き盛り世代、45才から70才前ぐらいまでの働き盛り世代で、“がん”による死亡者の割合が高くなっています。これは非常に大きな問題だと思っておりますし、社会的な損失です。こういった現状から県民の皆様への安心、あるいは生活の質ということを考えますと、がん対策に力を入れるということが必要であるということです。平成22年10月に「ひろしま未来チャレンジビジョン」という県全体の総合計画を策定しましたが、その中でがん対策日本一の実現というのを、目指す姿として掲げて今取り組んでいるところです。この対策は、平成25年、この4月から5ヶ年計画を新たに作ります。第二次の広島県がん対策推進計画というものになりますが、これは一言で言うと、すき間のない総合対策ということで今回は進めてまいりたいと思っています。すき間のないというのはどういうことかと言いますと、六つの柱ですき

間のない対策をする、その六つというのは、予防です。まず予防、それから“がん”を早く見つける検診、そしてもし“がん”になった場合にしっかりと治すという医療、それから“がん”になった場合に心や体の痛みを和らげる緩和ケア、そして患者目線の相談支援、それから正確なデータを集めるということが非常に重要なので、がん登録というものを立てております。これは実は第一次の計画、今年の3月に終わる計画ですけれども、ここにおきましてもこういう六本柱というのを立ててやってきておりますので、これを引き続き継承して進めていくというふうに考えております。六つの柱で日本一のがん対策ということをスローガンに考えたいと思っております。

医療の進歩で、“がん”を治療しながら日常生活を続ける患者さん、あるいは経過観察ですね、“がん”になって完治はしてないかもしれないけれども、治療を経て経過観察になっている、そういった皆さんが自分らしく豊かに生きることができると、そういうことも非常に重要だと思っております。例えば患者の皆様に対して、“がん”を経験された方が相談をする仕組み、ピアサポートというふうに言っていますが、そういった仕組みや、仕事と治療の両立をサポートする、そういったことが必要であると思っております。実はそういう面では事業者の皆様のご理解というか、ご協力が非常に重要でありますので、働きかけを進めてまいりたいと思っております。

ところで、このがん対策の中でも特に皆様をお願いしなければならないのが、この予防と、それから検診でございます。この予防は、具体的には禁煙や運動、また食生活の改善ですね、いわゆる生活習慣の改善によります予防であります。“がん”は、実はウイルスによって引き起こされるものもございまして、例えばウイルス肝炎を治療することで肝がんの予防ができる、また子宮頸がんというのも、これは女性の“がん”ですけれども、やはりウイルスが起因ですので、これは予防接種をするということによって防ぐことができます。そしてもう一つは検診ですけれども、これは“がん”に罹ったとしても早期に発見をして早期に治療で治す、いま治療で“がん”は治る病気になりつつあります、特に早期の“がん”ですね。そういうことがございますので、検診が非常に重要であるということでもあります。

“がん”を見つけるには、検診を受けるということが最も有効です。というのはつまり、早期の“がん”というのは症状が出ないわけです。症状が出ないわけですから気付くようなないということであり、見つける方法としては検診を受けるしかないということです。逆に言うと、症状が出る時期になるともうかなり進行していますから生存率が随分と落ち込んでしまうということです。そういう意味でこの検診がいかに重要であるかということがご理解いただけると思います。

また事業者にとりましても、その社会的な負担という観点からも、やはり早期の発見というのが非常に重要です。ぜひ会社における検診でも、がん検診を取り入れて頂きたいというふうに思います。もちろん治療すれば職場に復帰をして、せっかくこれまでいろんな形で人材投資をした方が、もう一度企業の事業に貢献していただけたということにもなるわけですし、そしてもちろん本人や家族にとっても幸せであるということです。

ではどんな検診を受ければいいのかということですが、実はがん検診というのは基本的には40歳以上の方が受けるということです。女性の子宮頸がんだけが20歳以上が対象になります。40歳以上になると、40歳未満は逆にいうと“がん”が少ないので、無駄でもありませんけれども、なかなか効果が薄いということですが、40歳以上になると非常に効果が出ると。お住まいの市や町でも実施しておりますので、そういった所で検診を受けていただいてもよろしいかと思っております。

実は県の受診率というのはあまり成績が良くなくて、全国平均以下という項目が多数並んでおります。平均でもいわずれにしてもそんなにいい成績ではないというのが現状ですが、そういう意味ではこの検診というのが、広島県にとって非常に大きな課題になっているわけです。

これまで本県では受診率の向上にむけて、様々な取り組みをおこなっております。まず無関心な皆様に対してインパクトのある普及啓発をする、これはデーモン閣下のポスターとか、ビデオ、チャレオなんか行くと頻りに流れています。それから関心を持たれた方々に対して、様々なルートから個別の受診勧奨をしていただくということもございます。また受診をする気持ちになったら、受診しやすい環境づくりという形で取り組みを進めてきました。これがデーモン閣下のキャンペーンで、これ実はかなり効果がありまして、去年までがん検診受けてないが今年に行こうと思うという方が50%くらいということで、これは効果があったと思います。さらにその関心が出たところで、個別に行ってくださいよという勧めを、勧奨するということがあります。これが例えば一つあるのが、“がん”よろず相談員というものであり、これは“がん”の専門医じゃない町のお医者さん、場合によっては必ずしも内科ではないようなお医者さんにも検診を勧めていただくということ、あるいは薬剤師の皆さんに勧めていただく、あるいはがん検診推進員というものです、ボランティアを募って進めたりとかしています。そしてもちろん実は企業の中で上司から勧奨を受けるというのも非常に重要であるというふうに思っております。

では、もし“がん”になったらどうするのかという、実際の医療、治療ということになるわけですが、これは三つほどご紹介させていただきたいと思っております。まず県内、国から実は11のがん検診連携拠点病院という指定を受けています。この拠点病院というのは非常に専門的な知識や技術を持つ医師や看護師を配置されており、手術であるとか、あるいは放射線治療、または抗がん剤治療等々、総合的に治療ができる、そういう体制を整えています。これに加えまして、平成22年度から国の指定と同じ基準を満たす病院を、広島県独自の指定をしております。県の拠点病院というふうにしており、11病院プラスこの右側の5病院ですね、呉共済、中国労災、尾道市立、福山医療センター、中国中央病院とありますが、ここを指定して拠点病院、同じような医療を提供しております。実はこれだけ揃っているのは全国でも他にありません。広島ではそういう意味で、“がん”になった場合のしっかりと受け止め体制といえますか、治療体制というのも日本一進んでいる所の一つだと思っております。それからもう一つありますのが、実はがん医療ネットワークというのを構築しています。これはまだ一般の皆様には馴染みが薄いところですが、いろんな医療機関がそれぞれの役割分担を果たして、役割を持って一連の流れを作って、しっかりと検診、発見、それから治療、そして治療後のケアということを進めるといって取っております。

それから、平成27年度から運営を開始の予定をしている、高精度放射線治療センターというものがございます。これは二葉の里に出来ますので、二葉の里の開発の一つの目玉になっていく、この医療ゾーンというところの大きな位置を占めるものになっていくというふうに思っております。

最後に改めて、皆様お一人一人をお願いをしたいこととございます。

まず、がん検診を受けてください、ということです。皆様方をお願いをしたいのは、ご本人だけでなく従業員の方とか、皆さんが影響力をお持ちの方にも、ぜひ勧めて頂きたいと思っております。

そして、なにか気になることがあったら医療機関に掛かってください。今、がんよろず相談員というのをどんどん増やそうとしています。そういったお医者さんにご相談いただいて、がん医療ネットワーク、そして拠点病院というふうにとしっかりと治療できるようにしておりますので、よろしく願いをいたします。以上のことで、がん対策日本一の実現を目指しています。これの実現には県民の皆さんの行動というのが非常に重要になっていきますので、何とぞよろしく願いをいたします。本日はご清聴ありがとうございました。

第19回ガバナー杯RC親善野球大会



一回戦、小野田RCとの試合は19-0で快勝！ 続く2回戦は萩RCとの対戦でしたが、惜しくも3-4で負けました。残念！

■出席報告

2013年3月28日(木) 会員数 80名
出席 67名 欠席 13名
来賓 1名 来客 1名 ゲスト 1名
3月7日例会出席率 98.72%

■お客様ご紹介 ロータリー家族親睦委員会

湯崎 英彦 様 (卓話来賓)
松本 洋介 様 (広島)
横田 則夫 様 (水野会長ご友人)

■次回例会 2013年4月11日(木)

卓話 日刊スポーツ新聞社 プロ野球評論家
山本 一義 氏
『プロ野球界で学んだリーダーシップ』